



図書館だより



2025. 10 伊丹市立東中学校 図書室

《行動経済学》

登場人物： 否田 ネガ彦
： エミちゃん

～二人のデートでの会話から～

・レストランにて

ネガ彦：「おいしかったけど高いね…」

エミちゃん：「…」

・ショッピングで洋服を選ぶエミちゃんに

ネガ彦：「かわいいけど派手だね…」

エミちゃん：「…」

・デートの最後に

ネガ彦：「楽しかったけど、疲れた…」

エミちゃん：「…」

↓ 行動経済学的に改善させると ↓

・レストランにて

ネガ彦：「高かったけど、おいしかったね。」

エミちゃん：「そうね♡」

・ショッピングで洋服を選ぶエミちゃんに

ネガ彦：「派手だけど、かわいいよ。」

エミちゃん：「買おうかしら♡」

・デートの最後に

ネガ彦：「僕は給料は安いし、
口うるさい母親もいるけれど、
僕はエミちゃんと結婚したい！」

エミちゃん：「うれしい♡」

このように私たちは複数の情報を順番に提示された時に、後に提示された方を印象強く評価してしまう「新近効果」と呼ばれる心理現象があります。ポジティブなことを最後に言う相手はポジティブな印象を抱く傾向があります。

（『ヘンテコノミクス』

佐藤 雅彦、菅 俊一、高橋秀明より）

会話をする時にこの事を少し意識してみると良いかもしれませんね。この本は図書室に置いてあります。他にも面白い行動経済学の例がたくさん載っているのでぜひ読んでみてください！

《図書館祭り》

10月28日（火）昼休み、ボランティアさんが図書館ハロウィン祭りを企画してくださっています。来館者にはボランティアさん&図書委員から素敵なプレゼントもあります！カチューシャや小道具など、仮装の用意もしていますので、ぜひ楽しみに来館してください。

《開館案内》

開館日時： 昼休み

貸出冊数： 1週間5冊

《おすすめの本》

『逆ソクラテス』

伊坂 幸太郎 集英社

学力も運動もそこそこの小学6年生の僕は、転校生の安齋から、ある作戦を持ちかけられる。それは、クラスメイトや担任の先生を巻き込んで、予想外の結末を迎え…。表題作をはじめ、全5編を収録。

『午後のチャイムが鳴るまでは』

阿津川 辰海 実業之日本社

文化祭で販売する部誌の表紙イラストレーターが行方不明になり、昼休みの校内を大搜索するが…。「いつになったら入稿完了?」など全5話を収録する学園ミステリー短編集。

『THE FORWARD』など掲載に加筆修正。

『オルタネート』

加藤 シゲアキ 新潮社

高校生限定のマッチングアプリが必須となった現代。東京の高校を舞台に、3人の若者の運命が、鮮やかに加速していき…。悩み、傷つきながら「私たち」が「世界との距離をつかむまで」を描く。『小説新潮』掲載を加筆し書籍化。

『六人の嘘つきな大学生』

浅倉 秋成 KADOKAWA

成長著しいIT企業の最終選考。最後に残った6人に出された課題は、「1人の内定者を6人で決めること」。そんな中、6人それぞれの「罪」が告発された6通の封筒が発見される。彼らの嘘と罪とは。そして「犯人」の目的は…。

『心臓の王国』

竹宮 ゆゆこ PHP 研究所

17歳の鬼島鋼太郎が出会ったのは、白いワンピースのような服に身を包む、「アストラル神威」と名乗る美青年。鋼太郎の通う高校へ転入してきて、青春を謳歌しようとする神威。彼が抱える「恐ろしい秘密」を知った鋼太郎は…。

『推し、燃ゆ』

宇佐見 りん 河出書房新社

ままならない人生を引きずり、祈るようにアイドル上野真幸を推すあかり。ある日、真幸がファンを殴って炎上し…。デビュー作「かか」が三島賞候補になった21歳の第2作。『文藝』掲載を単行本化。

内容紹介： ことば蔵HPより
※紹介した本は全て図書室で
借りられます。

